



東原小キャラクター「かめっち」

校長室の窓から

座間市立東原小学校（電話253-3145）

暑い夏休みを終えて、8月29日に2学期が始まりました。児童が大きな事故などなく新学期を迎えることができたことが何よりも嬉しいです。パリオリンピックでは、たくさんの感動や勇気ももらいました。見えないところで努力の積み重ねがあるからこそ、伝わってくるものがたくさんあるのだと思います。

2学期は、遠足、6年生の修学旅行、5年生のキャンプ、4年生の連合音楽会、ゲーム集会などが予定されています。一つ一つのことを大切にしながら積み重ねていったり、仲間と協力したりしながら、みんなの力で創りあげていきたいと思っています。



体験から得ること

東原だよりNo.8でも紹介されていますが、1月下旬に行われる学校保健委員会では、給食委員会が発表します。学校保健委員会のテーマは「朝ごはん野菜について～朝ごはんエネルギーチャージ！野菜を食べてパワーアップ！じょうぶな体は食事から～」です。

発表に向けての取組では、給食委員さんが中庭にある畑で実際に野菜を苗から育て、収穫した野菜で野菜を使った料理に挑戦しています。夏休み前には、せっせと水やりにも励む姿が見られました。次々と収穫できるのは夏休みの真っ最中でしたので、日直の先生が収穫し、1つ1つをラップに包んで冷凍保存しました。夏休み明けにも収穫できました。自分たちが育てた野菜はいとおしいような気持ちになったと思います。

9月の委員会活動の時間、家庭科室には生き生きと料理をする子どもたちの姿がありました。ミネストローネスープ、なすのみそ汁、きゅうりのキューちゃん、ピーマン炒めが次々と完成しました。「すっごくおいしくできました！味見してみますか？」との声からは、苗から育てた野菜を自分たちの手で料理の形にしたことへのうれしさ、達成感が伝わってきました。

もちろん、本やICT機器を使って、野菜や料理について調べてまとめることも、意義ある活動です。しかし、今回の子どもたちの様子を見て、体験から得ることの大きさを感じました。「～な料理はおいしいです。」と伝えるときにも、自分が料理して食べたものだと、伝える気持ちがぐっと違ってくるはずで、1月の発表が楽しみです。

学校では、たくさんの仲間と共に体験をし、体験したことについて伝え合うことでまた新たな気づきがうまれると思います。様々な学習や生活の場で、体験を取り入れ、子どもたちの心身の成長につなげていきたいと思っています。